

B-29墜落についての講演で平和を再認識しました



8月17日、中根浩樹さんが来校し、2年1組の生徒を対象にB-29が松平地区に墜落した時の様子を話してくれました。

昭和20年1月3日、午後3時15分頃に、米軍爆撃機B-29が、東加茂郡松平村そだめに墜落しました（現豊田市坂上町空田）。日本軍の戦闘機の体当たりにより、当地に墜落炎上したということです。

平成16年に「B-29」の里を整備し、平成22年に除幕式・慰霊祭を通じて日米友好親善をはかる活動として、地元のみなさんで世界平和を願う活動がされているということです。

講話後の生徒の感想文の中には、次のようなものがありました。

「小学校の時に一度B29が墜落したとされる所まで行ったことがありました。その時のことはもうあまり覚えていなかったのですが、今回改めてB29について、思い出せたり、新たにその実際に経験したことを知ることができて、たくさん学ぶことができました。また、私たちは修学旅行で広島まで行きます。そこで、このB29墜落の時とどんな違いがあるのかなどを学んできたいと思います。」

生徒に平和をよく考えてみるきっかけとなりました。

